

## 第7回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成25年9月19日（木） 10:00-12:00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井部会長、薬師寺部会長代理、家森委員、小野田委員、櫻井委員、田近委員、山川委員、山崎委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙科学・探査ロードマップの検討状況について

JAXAから資料1に基づいて説明したところ、以下のような意見があり、資料1「宇宙科学・探査ロードマップについて」は、部会として了承された。

○人材・技術の維持のために、打上げ頻度は重要。頻度を上げようというのがロードマップの考え方である。

○ロードマップにおいて打上げ機会を明確化することで若い人材が集まってくることが期待できる。

○文部科学省の説明では過去のISAS予算の平均は年190億円とのことであるが、これには、JSPEC（月・惑星探査プログラムグループ）で行われる探査ミッションは含まれていない。ロードマップでは、これら探査ミッションを含んだうえで、さらに、打上げ頻度を上げるため、年230億円前後が必要である。

○一定規模の資金の範囲内で行うものはコミュニティの中で競争的に選ばれ、コミュニティにより評価されていくものではあるが、社会に対する説明責任を果たすため、本部会としても進捗状況を聞くなどして、フォローしていく必要がある。

○コミュニティ全体の底上げが重要であり、大学との連携が必要。その対策はこのロードマップには含まれていないが、別途、政策として取り組む必要がある。

(2) その他

JAXAから、資料2に基づき、はやぶさ2相乗り衛星の選定結果について報告を受けた。

以上